

事業所名

こどもセラピーnYokki

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

1月

15日

|           |  |  |   |
|-----------|--|--|---|
| 法人(事業所)理念 | 生活しやすく、生きやすく、人が笑顔になる人生mapを創造する                                     |  |   |
| 支援方針      | 自分で「決める力」・「解決していく力」・「主体的に生きる力」を育む                                  |  |   |
| 営業時間      | 8時   | 30分から  | 17時30分まで  |
|           | 送迎実施の有無  | あり   | なし  |
| 支 援 内 容   |  |  |   |
| 本人支援      | 健康・生活  | 個別指導のスペースは別室で行ったり、仕切りで区切り、本人が集中できるよう、構造化などによる生活環境の調整を行います。<br>トイレや休憩タイムなど、生活習慣への支援は時計やタイマーを用いて行います。<br>【主なプログラム】：体温チェック、朝の会、ADL動作(食事・排泄・更衣・移動・整容)トレーニング  |   |
|           | 運動・感覚  | 感覚統合遊具を用いて、効果的に運動・感覚刺激の入力を促します。また、全身の成長発達を促すため、1対1の個別活動でBabyマッサージを行います。<br>音声過敏のお子さんにはイヤーマフ、口腔内鈍麻のお子さんには咀嚼グッズを貸し出すなど、感覚の特性に応じた対応を行います。<br>【主なプログラム】：スイング、トランポリン、ハンモック、ボルダリング、ボールプール、感触遊び、粘土など  |   |
|           | 認知・行動  | 活動のスケジュールは絵カードで視覚的に提示し、1人1人、自分のスケジュールボードを完成させて活動を行います。(選択→決定→実行を支援します)<br>発達段階ごとのグループに分かれた小集団活動と1対1の個別活動を組み合わせ、色や数、大きさ、空間や時間などの概念形成習得を行います。<br>情報処理の偏りやこだわりに対してもお子さんの特性に応じた対応を行います。<br>【主なプログラム】：活動ボード作成、マッチング、ジェスチャーゲーム、机上活動(色塗り・折り紙・制作・ブロック・パズル)、ビジョントレーニング                        |   |
|           | 言語<br>コミュニケーション  | 言語発達の課題別に小集団活動と1対1の個別活動を組み合わせます。また、発話が難しいお子さんには絵カードを用いて要求表出を促します。<br>発音や口腔内の発達を促すため、1対1の活動で口腔内マッサージを行います。また、言語聴覚士によるアドバイスを受けた職員による遊びや活動を通じて物事の体験と言葉の意味をづけ、コミュニケーションに必要なスキル(視線・指差しetc)から話しことば、学習言語のスキル習得を行います。<br>【主なプログラム】：発音トレーニング、あいうべ体操、カード(数字・文字・絵)ゲーム、シャボン玉、しりとり、文字タッチ、終わりの会etc |   |
|           | 人間関係<br>社会性  | お子さんの行動に対して、職員全員、ABAの理論に基づいて共通認識を図り、一貫性のある対応を行います。また、「どうすれば良いのか」「お友達はどんな気持ちだったのか」など、本人と一緒に考え、次の行動を促していきます。その他、SSTを通じて、場面に合わせた言葉使いや、お友達への適切な関わり方などの支援を行います。<br>【主なプログラム】：かくれんぼ、だるまさんが転んだ、輪取りゲーム、カラーボール集め、ジェンガー、読み聞かせ、おままごとetc   |   |
| 家族支援      | 毎月の家族支援(面談)、LINEでの随時相談<br>上記以外にも、送迎の際などにも情報共有を図っています               | 移行支援   | 必要に応じて関係機関への情報提供、相談、助言を行っています                               |
| 地域支援・地域連携 | 保育所等訪問支援、関係機関連携を行っています   | 職員の質の向上  | ・新人職員研修<br>・施設全体研修(1回/年)<br>・個人研修(1回/月)<br>・資格取得研修<br>・外部研修 |
| 主な行事等     | 主に活動の中で季節の行事等を組んでいます。(子どもの節句・七夕・ハロウィン・クリスマス・鏡開き・節分・ひな祭り・総合避難訓練etc) |  |   |